

一方押上支部は同夜、押上町一五五の事務所にて緊急役員總會を開き本部より棚橋理事の來會を求め協議の結果大勢罷工に傾き、十四日早朝工場内娛樂室に於て支部總會を開き直に罷工を執行することとなれり。十四日早曉娛樂室に於て罷工に關する總會開催、一の反對者もなく罷工は可決し左の決議をなしたり。

決議

我が紡織労働組合は佐々山工場長に依りて否認せられんとす、我等は此組合権の否認に絶対反對す
我等は和田社長に向て組合権の確認を要求す右決議す

尙會社に對する交渉は本部に一任す

大正九年七月十四日

紡織労働組合押上支部

かくて職工團は娛樂室に於て演說會を開きて氣勢を昂め、一步も同室を退かざるの決心をなし、佐々山工場長が事情を聴取せんがため同室に到るや之を室外に突き出し「事情を聴きたければ支部事務所に行け」として相手にせざるより、午前九時向島署長は同室より職工團の撤退を命じたり。

罷工職工は素より組合員のみならず、男工は全部組合員なるも女工中には組合と關係なきもの約五百に上れるも全職工二千六百の悉くが組合員なるかの如き觀を呈したるは最後まで同一なりして、て記述の便宜上今後も組合員及職工とせず、職工の語に兩者を包含すべし。

一方組合幹部は午前七時より事務所に罷工本部を置き麻生、棚橋兩本部理事出席協議の結果、炊出係、傳令、警備隊、職工集會所係、會計係等の部署を定め一切の策戦は麻生、棚橋兩理事に於て司ることとなりて、時を移さず先づ左の宣言は發表せられたり。

宣言

富士瓦斯紡績株式會社押上工場は日本の代表的資本家和田豊治氏を社長とする大會社にして、資本金三千六百萬圓を擁し今期配當十三割に及び、此社に働く労働者の数は男工約四百女工約千六百計約二千名なり。

友愛會本所支部が此會社に産聲を擧げたるは大正三年十一月にして現在會員は千八百五十餘名にして中女工千四百名を數ふ。

今次經濟界に恐慌襲來するや、會社は労働者の失業問題に悩むを奇貨とし、此際労働者の勢力を根底より覆へし昔日の奴隸的狀態を拜還せんと欲し、兼て計畫しつゝありし友愛會絶滅の方針を露骨に表白するに至れり。

彼等は去る六月廿九日、言を構へて先づ會の有力なる幹部二名を犠牲せり、其の手段は醜劣を極む。續いて工場長等は其の部下と相謀り、先づ女工に迫りて友愛會を脱會すべき事を強要し會の幹部を召喚して將來會社内部の職工より組合費其他の金錢を取り立つるには工場長の許可を得ざれば之をなすべからざる事を宣言せり、爲めに社内の人々競々たるものあり彼等は放言威嚇して曰く「之よりは資本家の天下なり、會社の順使に甘んずる者は會社を去れ」と、更に昨七月十三日に至り會の最高幹部三名に對し突如解雇を命じ會に對する挑戦を露骨に表白し來れり、其の狀、恰かも昨年秋日立事件として知られたる久原鑛業株式會社の執れる態度に毫も異ならず、當代資本主義の殘酷横暴利己的なる精神の遺徳なき發揮のみ、労働者の向上は一にか、つて團結の如何に存す、團結は労働者の生命なり、我友愛會の存立する所以亦之を措いて他にあるなし、我等は昨年秋之がために目立に於て久原と戦へり、今又押上工場に於て同一事件に遭遇す、我々は會の精神に基づき死を以て之と戦ひ労働者の團結権を確立せざれば止まず。

事一會社の事件に似たれ共、問題は労働者團結権の事にして労働運動の根本にかゝる、其の一般労働運動者に及ぼす影響は蓋し大